

# わくわく学びの街・下関

下関市教育委員会 生涯学習課  
社会教育主事だより  
令和6年6月13日



## 下関母のつどい大会(下関市連合婦人会)



皆さん、下関連合婦人会をご存じでしょうか？戦後の結成時には、炊き出しや隣人を支援する活動から始まった婦人会の連合会です。時代の変化に伴い、交通安全普及活動や日本赤十字奉仕活動などの活動を加え、昨年度には、地域にとらわれない市内の「女性の会」が加えられ、現在11の会が所属しています。下関連合婦人会には、小学生家庭対象の縄跳び・鉄棒講座や大工講座、ねこぜ講座、ケー

キ作り、ノルディックウォーキング等の家庭教育推進事業も協力していただいています。

6月8日(土)には、下関市連合婦人会主催、下関市教育委員会共催、下関市PTA連合会後援で、「下関母のつどい大会」がシーモールパレスで行われました。大会には、各婦人会及びPTAから約130名の方が参加されました。

## 講演：自分の可能性を信じる子どもを育てるために

母のつどい大会では、岡山大学教育推進機構准教授の中山芳一氏を迎えて講演が行われました。中山氏は、「非認知能力の育成」に取り組む教育方法学の研究者です。講演の概要を紹介します。

非認知能力は、テストや検定等、数値で測定できない能力である。非認知能力を3つの枠組みで整理すると、自制心・忍耐力・回復力等の【自分と向き合う力】、意欲・向上心・自尊感情等の【自分を高める力】、共感性・協調性・コミュニケーション力等の【他者とつながる力】に分けられる。AIとパートナーになっていく時代、この非認知能力も非常に大事になり、大学入試でも知識重視から経験重視のAO入試等が50%を超えている。非認知能力を正しく理解し、子供が自分の可能性を信じられるよう周りの大人が関わっていくことが重要である。

昔から生きる力、人間性等、非認知能力が大切だと言われてきましたが、今回の講演では、それが具体的に説明されました。時代が急速に変化していく中で、大人が学ぶ場は大変貴重で、もっとたくさんの人に聞いてもらいたかったです。

